

供覧・決裁						
議長	副議長	局長	課長	副課長	係長	
[Redacted]			[Redacted]			



令和3年10月11日

丹波篠山市議会議長 様

会派名

代表者名

又は会派無所属議員の氏名 向井 千尋 [Redacted]

政務活動報告書

この度の政務活動を下記のとおり報告します。

記

1. 活動の種類： 視察調査 ・ 研修 ・ 広報広聴活動
その他（書籍購入）
2. 活動期間： 令和3年10月9日（土）
3. 場所： 自宅（ズームによる研修）
4. 活動者： 向井千尋
5. 活動の概要： 市川房枝記念会女性と政治センター主催
「性暴力防止政策の課題」戒能民江氏
6. 考察： 別紙参照
7. 活動に要した費用：

費目	詳細	金額	備考
研修費		1540	1100 受講料
			440 手数料

政務活動調査研究報告書

報告者	向井千尋
日時	令和3年10月9日(土)
調査研究名	市川房枝女性と政治センター講座
開催場所	自宅にてズームによる講義
内容	<p><u>性暴力防止政策の課題</u> 戒能民江氏(お茶の水女子大学名誉教授)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刑法において性犯罪 100年ぶりの大改正=刑法においてDV罪はないとされてきた。日常の場での被害が一番多い。 ・若い時や子どもの時に性被害にあっているケースの6割が相談していない。 ・最高裁の無罪判決は、性暴力に対する深い傷の軽視である。裁判官の1人のみが有罪判決。 ・2017年国連勧告「ジェンダーに基づく女性に対する暴力」・女性への暴力が社会構造に組み込まれている。 ・韓国では法整備が短期間で進んだ。(日本では考えられない) ・刑法再改正において、誰が検討の主人公になるのか?被害者を置きざりにしてはならない。 ・婦人保護事業、売春防止法から脱却し、新しい枠組みが必要である。 ・困難な問題を抱える女性支援への女性支援法の制定 ・被害者支援のあり方を考える ・一時保護所、ハードルが高い。規制が大きい。 ・議会から意見書を出すことができる。 ・民間団体、ワンストップセンター、配暴センターの声を聞く。 ・地域間格差、ナショナルスタンダード、公的機関のあり方を変えていく。 ・
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・100年ぶりの刑法改正について注目していきたい。また、法制度の整備とともに市町村で取り組むべき課題についても考えていく。 ・性暴力はジェンダー差別による社会構造から影響が大きい。 ・被害者を真ん中においた被害者支援のとりくみが必要である。

ご利用明細

本日はご来店いただきありがとうございます。
ご利用明細をご確認のうえ、お持ち帰りください。
裏面のご案内もあわせてごらんください。

SMBC

☆☆お振込☆☆

お振込金額 ¥1,100
振込手数料 ¥440

お受取人は

三井住友銀行
[Redacted]支店
普通
サイ [Redacted] セイトセ

イジセ 様

お振込人は

ムカイチヒロ 様

お取扱日 3.10. 6 電信振込

取扱店	機番	年 月 日	時刻
39272		3.10.	610:26
			2971

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

銀行番号	店番号	口座番号等

三井住友銀行